

## 地域密着型特別養護老人ホーム大阪老人ホームまつばら（仮称）入所選考基準規定

### 1、目的

この規定は、地域密着型特別養護老人ホーム大阪老人ホームまつばら（仮称）（以下「施設」）へ入所申込みをした者のうち、必要性の高い者が優先的に入所できるよう、大阪府の入所選考指針に基づき入所決定過程の公平性と透明性を確保することを目的とする。

### 2、入所対象者

入所対象者は、要介護3以上と認定された者のうち、居宅において日常生活を営むことが困難なものとする。ただし、要介護1又は2の者のうち、次に掲げるいずれかの場合で、施設以外での生活が著しく困難であると認められる場合は、介護保険の保険者（以下「保険者」という。）の適切な関与の下、施設ごとに設置している入所選考委員会を経て、特例的に入所（以下、「特例入所」という）を認めることとする。

#### 【特例入所の要件】

- ・認知症である者であって日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られること
- ・知的障がい・精神障がい等を伴い日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁に見られること
- ・家族等による深刻な虐待が疑われる等により、心身の安全・安心の確保が困難な状態であること
- ・単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分であること

### 3、入所の申込み

#### 1) 申込方法

入所の申込みは、指定（地域密着型）介護老人福祉施設入所申込書兼台帳及び居宅介護支援事業所、施設等のケアマネジャー等の意見を付した入所選考調査票により、本人または家族等から施設に対して行うこととする。

#### 2) 添付資料

施設への申込みに当たっては、介護保険被保険者証（写）、要介護認定調査票の基本調査（写）、直近3ヶ月分のサービス利用表（写）、サービス利用表別表（写）を添付した上で行うものとする。

#### 2) 受付簿の管理

施設が申込みを受理した場合は、受付簿にその内容を記載して管理するものとする。また辞退や除外等の理由が生じた場合は、その内容を記録するものとする。

#### 4、入所選考委員会

- 1) 施設長は、入所の選考に係る事務を行うため、合議制の委員会（以下「入所選考委員会」という）を設置するものとする。
- 2) 入所選考委員会は、施設長、生活相談員、介護職員、看護職員、介護支援専門員等施設内職員、施設以外の第三者（第三者委員等）が参加することとする。
- 3) 施設は入所選考委員会において特例入所対象者の選考を行うとき、入所の必要性の高さを判断するため、保険者に対して適宜意見を求めるものとする。また保険者は施設に対し適宜意見を表明することができる。
- 4) 施設長は原則として月1回、入所選考委員会を開催するものとする。
- 5) 入所選考委員会は、入所選考者名簿を調製するとともに、これに基づき入所順位の決定を行う。
- 6) 施設は、入所選考委員会を開催したときは、その協議の内容を記録し、これを5年間保存するものとする。
- 7) 施設は、保険者又は大阪府から求めがあったときは、上記の記録を提出するものとする。

#### 5、選考者名簿の調製

- 1) 調製方法選考者名簿は、入所申込み者に対して、別表に定める基本的評価基準による評価と個別的評価事項を総合的に勘案し、上位の者から登載する。

##### 【基本的評価基準】

- ① 要介護度
- ② 介護者の有無
- ③ 在宅サービスの利用率
- ④ 地域性による評価

##### 【個別的評価事項】

施設による適切な入所者の援助及び健全な施設運営に努める上で、入所者を決定する際に考慮し、調整することができる項目は次の通りとする。

- ① 緊急性
- ② 性別
- ③ ベッドの特性
- ④ 施設の専門性
- ⑤ 遠隔地の利用者を親族の居住地付近の施設に入所させる場合の配慮
- ⑥ 家族の介護量や経済的事由により在宅サービス利用度が低位な者に対する配慮
- ⑦ その他、配慮しなければならないと委員会が判断した場合

## 2) 調整時期

選考者名簿は、入所選考委員会を開催するごとに調整する。

## 6、特別な事由による緊急入所

次に掲げる場合においては、入所選考委員会を開催せず、施設長の判断により入所を決定することができる。

- ① 災害や事件、事故等により緊急に入所する必要性が認められるとき
- ② 老人福祉法に定める措置委託によるとき

この入所基準規定は、令和5年11月1日から施行する。